努力賞

私の考えを変えた本の紹介

荒川区立汐入東小学校 六年

濱田 房俊

今回、私は「泣いた赤鬼」という本について書こうと思います。

私は、保育園に通っていた時から、自分を中心として考えていたので、他人なんかおかまい無しで、自分が良ければそれで良いと思っていました。そんな時、図書館の「児童向けの絵本」というたなで、一冊の本に出会いました。その本こそが、「泣いた赤鬼」という本でした。

この本の内容は、村人と仲良くなりたい赤鬼だが、仲良くなれず、友達の青鬼の考えで、青鬼が大暴れしている所を赤鬼が止めるという作戦を実

行したところ、村人と仲良くなることができました。しかし、青鬼は、赤鬼と一緒にいたら赤鬼は悪い鬼だと思われることを心配し、旅に出てしまうというものです。

私は、この本を読んで、青鬼の優しさに感動すると同時に、今までの自分の行いに対して、後かいました。自分をぎせいにしてまでも友達の赤鬼のことを思って行動した青鬼。それに対して、自分は、今まで自分の事ばかり考えている。今まで、いじわるをした子に謝りたいと思いました。もしも、自由に過去や未来に行けるのならば、生まれてくる時から人生をやり直したいと思います。この本を読んでから私は、自分を中心と考えず、相手のためにつくすようになりました。将来、誰からも信らいされるような人となれば良いなと

思います。

世界中の人が、私のように思い直し、支え合って
生きたら、地球はどんなに豊かな星と変わって
いくのでしょうか。先生は、どう考えますか。